

○議長（堀内春美さん）

続いて通告5番 6番 秋山仁君の一般質問を行います。

6番 秋山仁君。

○6番議員（秋山仁君）

それでは、通告に従いまして、質問させていただきます。大きく分けまして2つ質問させていただきます。

まず1番目といたしまして、道路整備について、この質問は昨年3月の定例議会で質問させていただきました。そのときは、町道八丁山線の一部が未整備であるが、観光道路の迂回路として整備予定はあるかについて、当局からは、「県道平林線、県営平林赤石高下線が整備されており、観光ルートとして十分機能している。緊急時の迂回路は、県営林道平林赤石高下線、町道平林伊奈ヶ湖線、町営林道北山線を考える。」という回答でした。

そこで（1）として、八丁山線が未整備ですけれども、優先順位は遅れるが整備を行なうことになっているが、現段階の進捗状況を伺います。

○議長（堀内春美さん）

土木整備課長 河原恵一君。

○土木整備課長（河原恵一君）

ただいまのご質問にお答えいたします。本路線の道路整備につきましては、令和3年3月定例会において、議員よりご質問をいただき、「早急に整備を進める必要な道路があるため、優先順位は遅れますが、いずれは整備も行っていくたい」とお伝えしたところであります。

町では、町道大柵大久保線など市街地の道路整備を優先的に進めておりますので、現在のところ、町道八丁山線の整備についての進捗はございません。

○議長（堀内春美さん）

秋山仁君。

○6番議員（秋山仁君）

そうしますと、約1年間は調査・研究などは行なったのですか。

○議長（堀内春美さん）

土木整備課長 河原恵一君。

○土木整備課長（河原恵一君）

ただいまのご質問にお答えいたします。先ほど申しましたとおり、まだ優先する道路事業等があるため、八丁山線につきまして測量とか、設計とかというようなことは、行なっておりません。ただ、現地の調査と申しますか、現地を歩いて、どのような状況であるかという部分につきましては、パトロール等で行なっているところです。以上です。

○議長（堀内春美さん）

秋山仁君。

○6番議員（秋山仁君）

そうしますと、パトロールをして、そこで調査を行なったということで、では、優先順位があるから現時点では行わないということなのではけれども、調査・研究というのが、もうちょっと詳しい見解をお聞きしたいです。

○議長（堀内春美さん）

土木整備課長 河原恵一君。

○土木整備課長（河原恵一君）

ただいまのご質問にお答えいたします。通常、道路整備等行う場合、その道路の測量をいたしまして、どのような基準で道路を造るか。また、どのような補助金を使うかという部分を行なっていくわけではけれども、この測量調査につきましても、やはり経費が掛かりますので、すぐに整備を行なうような道路につきましても、調査委託を行なうわけではけれども、先ほど申しましたとおり、八丁山線につきましても、まだいつ整備ができるかという部分につきましても未定でございますので、そういった細かな調査等は行っていないというところでございます。以上です。

○議長（堀内春美さん）

秋山仁君。

○6番議員（秋山仁君）

端的に言いますと、パトロールのみということで、通常パトロールというのは、どこでも行ないますと思われるけれども、やはり優先順位というのはあるかと思われます。やはり、その場所ですと町道とは言いましても車が頻繁に通るわけでもないからということは確かに思われますけれども、総工費も事前にお聞きしましたら、概算で20億、30億掛かるということも聞いております。本町の一般財源ではとても厳しい状況だと思われますけれども、例えば、先ほどもちょっと出ましたけれども、いわゆる国や県の補助金の活用も考えなければ、これも調査・研究になるかもしれませんけれども、その辺の考えはありますか。

○議長（堀内春美さん）

土木整備課長 河原恵一君。

○土木整備課長（河原恵一君）

ただいまの質問にお答えいたします。議員のおっしゃるとおり、とても町単独事業で行なえるような事業ではないと考えております。やはり、国の補助金等々が必要かと思われそうですが、いま現在、国の補助金制度として考えられる部分につきましても、社会資本整備総合交付金や地方創生道路整備推進交付金などが使えるかと思われますけれども、具体的にその道路の整備について計画を作っ

ていませので、この交付金等が絶対に使えるかという部分についてはまだ協議をしておりませので分かりませ。従いまして、いま現在この2つの補助金があるのではないかというふうに考えております。以上です。

○議長（堀内春美さん）

秋山仁君。

○6番議員（秋山仁君）

これは通告にはなないので、町道と言いましても山林がだいぶあるところですから、例えば、2019年に施行されました森林環境税の活用もどうなのかというふうに思っていますけれども、林道の入口というのは森林環境税の活用の検討も必要かと考えます。

再質問ですけれども、高いところでは70mから80mあるところですから、戸川の底から工事をするとなりますと、20億、30億掛かるということですが、けれども、長期スパンの考えの中で、尖った石があるのですが、少なくともそのような部分の維持管理というか整備も現状では優先順位があるから行なうことができないというふうなお考えなのでしょうか。少なくともそのくらいことは、新設道路を造れということではないので、いまある町道をどのように活用するのか、これからの時代には大事ではないですかということをお願いしたいと思うのですが、いかがですか。

○議長（堀内春美さん）

土木整備課長 河原恵一君。

○土木整備課長（河原恵一君）

ただいまのご質問にお答えいたします。道路事業の計画の優先順位云々ではなく、町道の通常の管理につきましては、現在の予算の範囲内で実施して参りたいと考えております。以上です。

○議長（堀内春美さん）

秋山仁君。

○6番議員（秋山仁君）

再質問ですけれども、今後この道路については、先ほど言った優先順位があるからまだまだ整備計画ではないということに理解してよいと思われまうけど、町長どうでしょうか。

○議長（堀内春美さん）

町長 望月利樹君。

○町長（望月利樹君）

ただいまの質問にお答えいたします。町道八丁山線を含めて町内の道をしっかり維持管理していくことがまず第1の目的だと思っています。それにプラスして議員ご提案のとおり、様々な観光施策としての活用策、また、地域と地域

の横のつながり、いわゆる三筋の横をどうつないでいくか、旧道という部分の復活をさせるには、観光資源として非常に有効だということは私も認識しているところでございます。しかしながら、道路行政に使うお金の部分は限られている資源でございます。議員のご指摘のとおり、様々な補助金等もしっかりチェックしながら、できる限り幅広い活用策も今後検討していかなければいけないと思っているところでございます。ある資源をどのように活用していくかをもう1回見直していくことが非常に大事な切り口だというふうに思っておりますので、ぜひ一緒に議論を進めていければと思っているところでございます。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

秋山仁君。

○6番議員（秋山仁君）

町長からも出ましたけれども、国や県の補助金を、英知を結集してやっていくことがよいかと思われま。

次に2番に移りたいと思います。観光振興についてということで、昨年3月に「つなぐ棚田遺産 ふるさとの誇りを未来に」の指定棚田地域に平林の特定地域が農林水産省、総務省、文部科学省、国土交通省、環境省により、山梨県第1号として指定棚田地域を受けました。指定棚田地域とは、昭和25年2月1日時点の市町村の区域で、勾配が20分の1の棚田が1ha以上ある地域から、都道府県からの申請に基づいて、国が指定するものです。平林の棚田は、日本棚田100選にも認定されました。

そこで、観光事業として活かす考えはないか伺います。

○議長（堀内春美さん）

産業振興課長 遠藤悦美さん。

○産業振興課長（遠藤悦美さん）

ただいまのご質問にお答えいたします。平林の棚田は、昨年2月25日に棚田地域振興法に規定する指定棚田地域の指定を受けました。これまで棚田の保全にあたっては、荒廃農地を解消する取組みとして、平林活性化組合が棚田オーナー制度や各種農業体験を行ない、交流人口の増加と景観の維持に取り組んで参りました。また、平林地区は楡形山の玄関口に位置し、四季折々の棚田と富士山が織りなす風景に加え、みさき耕舎や平林たはたの宿といった施設があり、観光資源は豊富にあります。

今後は、指定棚田地域の山梨県第1号の指定を受けたことから、これらを組み合わせた観光事業が行なえるか、平林活性化組合等に相談して参りたいと考えております。

○議長（堀内春美さん）

秋山仁君。

○6番議員（秋山仁君）

町長、この自然豊かなところ山梨県で、棚田で第1号というこんな素晴らしいことはないです。間接的には活かしているかもしれませんが、やはり、これを活かすべきです。

そこで再質問ですけれども、この棚田地域を利用して、遊歩道などを造り、富士山を見ながら古民家を利用して売店の設置をしながら、散策をするような考えの検討というのは、いかがですか。

○議長（堀内春美さん）

産業振興課長 遠藤悦美さん。

○産業振興課長（遠藤悦美さん）

ただいまのご質問にお答えいたします。集客には大変よいことだと思います。ただ、今後棚田と組み合わせた観光資源を、地元の方々の意見や考えを聞きながら、集客が見込まれるようなことを考えていきたいと思っております。

○議長（堀内春美さん）

秋山仁君。

○6番議員（秋山仁君）

ある程度色々なメニュー、基準がある中で申請していると思っておりますから、前もって地元の方々にお話はしてあるかと思われまますから、検討すべきではないかと思っております。

もう1点、棚田地域の絶景スポットに、指定棚田地域山梨県第1号という大きな看板等を、写真撮影等もありますので一概にこの場所にというよりは、支障のない限りで設置する検討はいかがですか。

○議長（堀内春美さん）

産業振興課長 遠藤悦美さん。

○産業振興課長（遠藤悦美さん）

ただいまのご質問にお答えいたします。ご提案をありがとうございます。こちらのほうでも、スポットであるということをお知らせができるかどうか検討して参りたいと考えております。

○議長（堀内春美さん）

秋山仁君。

○6番議員（秋山仁君）

選定基準が9つあるということですがけれども、その中に自然環境の保全ということで、石積みの保全活動も行なっているということなのですがけれども、石積み教室や平林は水が良いということもあり、昔はこんにゃくの生産地であったということで、こういうものを観光産業にもっと活かせればというふうにも

思うのですけれども、その辺についてはいかがですか。

○議長（堀内春美さん）

産業振興課長 遠藤悦美さん。

○産業振興課長（遠藤悦美さん）

ただいまのご質問にお答えいたします。今回は、この指定棚田地域とは別に「つなぐ棚田遺産」ということで平林と眷米の棚田が指定されてございます。その中で眷米地区、平林地区の両方とも石積みにこだわった保全活動という内容も出ておりますので、こちらのほうで地域と連携しながら考えて参りたいと思います。

○議長（堀内春美さん）

秋山仁君。

○6番議員（秋山仁君）

もう1つ基準の中に、平林の農産物供給の促進ということがあるわけですが、棚田でつくったお米、それから平林のトマトは本当に有名ですが、これ以外には棚田を活用した生産活動のようなことを検討する予定はありますか。

○議長（堀内春美さん）

産業振興課長 遠藤悦美さん。

○産業振興課長（遠藤悦美さん）

ただいまのご質問にお答えいたします。平林地区では、棚田で作ったお米ということで、棚田オーナー制度も設けて実施しております。また、平林の特産であるトマトの栽培も実施しております。そのほかには、大根の栽培や収穫祭も行なったところなので、そちらのほうも実施しているところです。ほかには、「富士山あじさい」というピラミッド型のあじさいを遊休農地に植え、農地の保全をしているところでございます。

○議長（堀内春美さん）

秋山仁君。

○6番議員（秋山仁君）

先ほども出ました「富士山あじさい」は、選定基準の中の自然環境の保全だそうなのですが、いま平林地区124件ほどの集落なのですが、そのうち移住の方たちが約2割いらっしゃいます。なぜ平林なのか、私たちはずっとこの地に住んでいますから、なかなか実感はないわけですが、自然の魅力に本当に惚れ込んで移住してくるそうです。いまでも、そういう人はいるようです。「たはたの宿」も開業したばかりですから、素晴らしい地域だと思います。ぜひ、指定棚田山梨県第1号ということですから、町長これは活かすべきです。いかがですか。

○議長（堀内春美さん）

町長 望月利樹君。

○町長（望月利樹君）

ただいまのご質問にお答えいたします。議員ご指摘のとおり、本町には、様々な観光資源の原石というのが眠っていると思います。その1つとして、議員が質問していただいた平林の棚田、平林の富士山が見える原風景。この宝を磨いて、活かしていかない手はないというふうに思っているところでございます。やはり、平林のみならず穂積村、五開村という、かつて昭和の合併で消滅した旧村こそが本町の発展のキーワードだというふうに私は思っているところでございます。ですから、原石は揃っているので、それを磨いてどうやって輝かせるのかを、みんなの力で、英知を合わせて早急に進めていきたいというふうな思いを持っております。ぜひ、今後も議会の皆さま方、町民の皆さま方と議論を重ねていきながら、いい地域づくりを、いい観光資源を作っていきたいと思っているところでございます。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

秋山仁君。

○6番議員（秋山仁君）

町長、ぜひ原石を磨いてください。終了します。

○議長（堀内春美さん）

以上で通告5番 6番 秋山仁君の一般質問を終わります。

ここで、暫時休憩します。

休憩 午後 1時55分

---

再開 午後 2時 4分